

ありえないチェンジ

シリーズ～チェンジ～

2016/10/16

使徒言行録9章1～22節

さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅迫し、殺そうと意気込んで、大祭司のところへ行き、ダマスコの諸会堂あての手紙を求めた。それは、この道に従う者を見つけ出したら、男女を問わず縛り上げ、エルサレムに連行するためであった。

ところが、サウロが旅をしてダマスコに近づいたとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。サウロは地に倒れ、「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。起きて町に入れ。そうすれば、あなたのなすべきことが知らされる。」同行していた人たちは、声は聞こえても、だれの姿も見えないので、ものも言えず立っていた。サウロは地面から起き上がって、目を開けたが、何も見えなかった。人々は彼の手を引いてダマスコに連れて行った。サウロは三日間、目が見えず、食べも飲みもしなかった。

ところで、ダマスコにアナニアという弟子がいた。幻の中で主が、「アナニア」と呼びかけると、アナニアは、「主よ、ここにおります」と言った。すると、主は言われた。「立って、『直線通り』と呼ばれる通りへ行き、ユダの家にいるサウロという名の、タルソス出身の者を訪ねよ。今、彼は祈っている。アナニアという人が入って来て自分の上に手を置き、元どおり目が見えるようにしてくれるのを、幻で見たのだ。」

しかし、アナニアは答えた。「主よ、わたしは、その人がエルサレムで、あなたの聖なる者たちに対してどんな悪事を働いたか、大勢の人から聞きました。ここでも、御名を呼び求める人をすべて捕らえるため、祭司長たちから権限を受けています。」すると、主は言われた。「行け。あの者は、異邦人や王たち、またイスラエルの子らにわたしの名を伝えるために、わたしが選んだ器である。わたしの名のためにどんなに苦しまなくてはならないかを、わたしは彼に示そう。」

そこで、アナニアは出かけて行ってユダの家に入り、サウロの上に手を置いて言った。「兄弟サウル、あなたがここへ来る途中に現れてくださった主イエスは、あなたが元どおり目が見えるようになり、また、聖霊で満たされるようにと、わたしをお遣わしになったのです。」すると、たちまち目からうろこのようなものが落ち、サウロは元どおり見えるようになった。そこで、身を起こして洗礼を受け、食事をして元気を取り戻した。

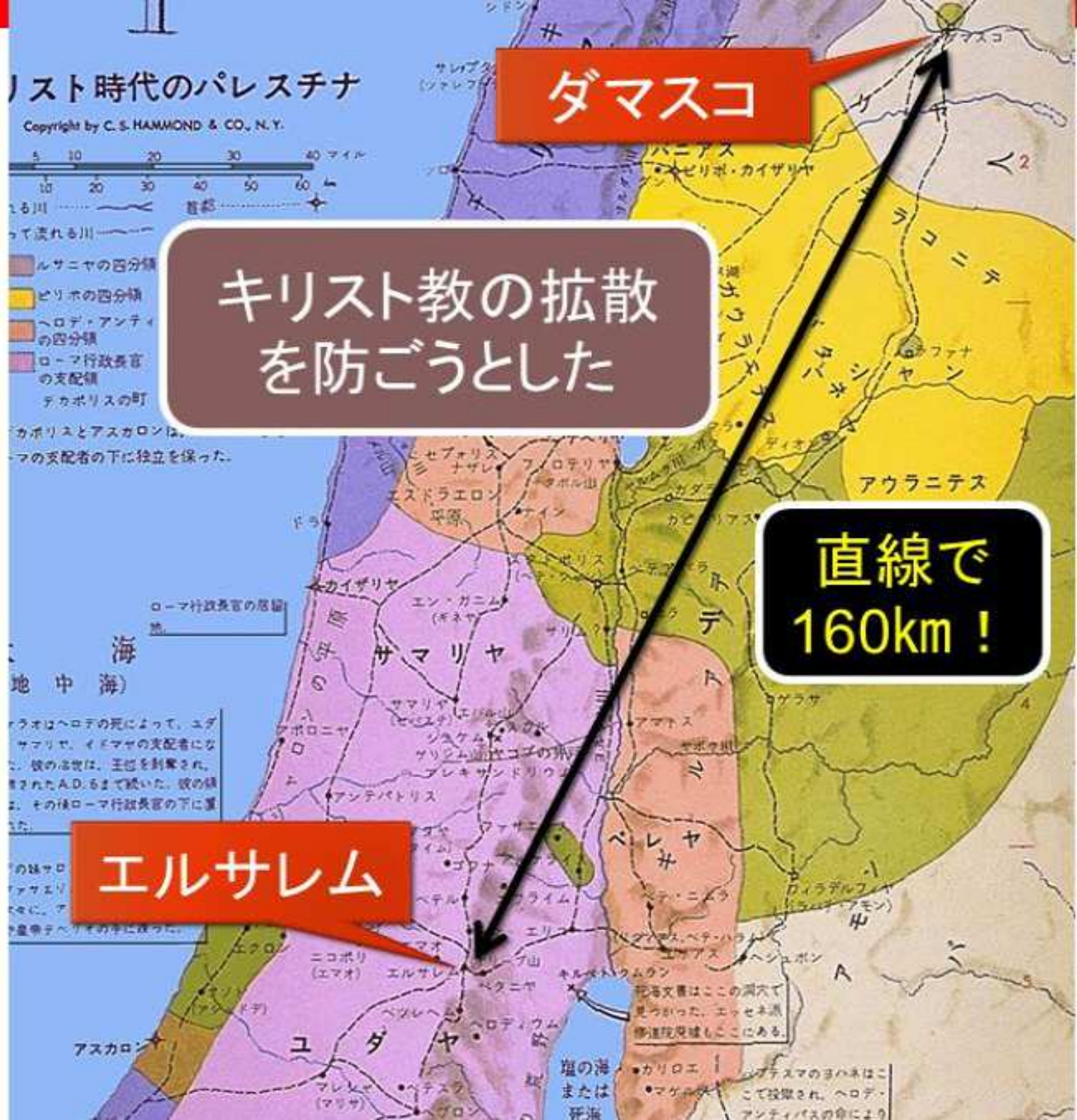
サウロは数日の間、ダマスコの弟子たちと一緒にいて、すぐあちこちの会堂で、「この人こそ神の子である」と、イエスのことを宣べ伝えた。これを聞いた人々は皆、非常に驚いて言った。「あれは、エルサレムでこの名を呼び求める者たちを滅ぼしていた男ではないか。また、ここへやって来たのも、彼らを縛り上げ、祭司長たちのところへ連行するためではなかったか。」しかし、サウロはますます力を得て、イエスがメシアであることを論証し、ダマスコに住んでいるユダヤ人をうろたえさせた。

ファリサイ派パウロ

- **タルソ出身のディアスポラユダヤ人**
 - パレスチナではない地域で生まれ育つ
- **ファリサイ派の最高指導者のもとで学ぶ**
 - 「ガマリエルのもとで先祖の律法について厳しい教育を受け…」使徒22:3
- **律法に熱心なあまり迫害者となった**
 - 「熱心さの点では教会の迫害者、律法の義については非のうちどころのない者でした。」フィリピ3:6
 - 「サウロは家から家へと押し入って教会を荒らし、男女を問わず引き出して牢に送っていた。」使徒8:3

・大祭司の「迫害許可証」を手にダマスコに赴いた

・「サウロはなおも主の弟子たちを脅迫し、殺そうと意気込んで、大祭司のところにへ行きダマスコの諸会堂あての手紙を求めた。」9:2



ダマスコ

キリスト教の拡散
を防ごうとした

直線で
160km!

エルサレム

衝撃の出会い

- **ダマスコ直前で、天から光と声がサウロに下った**
 - 「サウロが旅をしてダマスコに近づいたとき、突然、**天からの光**が彼の周りを照らした。サウロは地に倒れ、『**サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか**』と呼びかける声を聞いた。」9:3-4
- **サウロが尋ねると声の主はイエス様だった**
 - 「わたしは、**あなたが迫害しているイエス**である。」
 - サウロは、ナザレのイエスを、ユダヤ人を惑わす偽りのメシヤだと信じ、憎んでいた>その方が存在した!
- **サウロは目が見えなくなり、ダマスコで3日間食べも飲みもしなかった**

遣わされたアナニア

- **ダマスコにいたクリスチャン, アナニアへの指令**
 - サウロの所へ行き, 手を置いて祈りなさい
 - 彼はアナニアに祈られると目が見えるようになる幻を見ている
- **拒んだアナニア**
 - サウロは有名な迫害者で, 自分たちを迫害するためにダマスコに来た
- **主はサウロに特別な任務を与えられる**
 - 「行け。あの者は、異邦人や王たち、またイスラエルの子らにわたしの名を伝えるために、**わたしが選んだ器**である。」

迫害者が宣教者に

- **アナニアが手を置いて祈るとサウロの目が見えるようになり、洗礼を受けた**
 - 「すると、たちまち目からうろこのようなものが落ち、サウロは元どおり見えるようになった。そこで、身を起こして洗礼を受け…」9:18
- **直ちにサウロは迫害者から宣教者になった**
 - すぐあちこちの会堂で、「**この人こそ神の子である**」と、イエスのことを宣べ伝えた。これを聞いた人々は皆、非常に驚いて言った。「あれは、エルサレムでこの名を呼び求める者たちを滅ぼしていた男ではないか。また、ここへやって来たのも、彼らを縛り上げ、祭司長たちのところへ連行するためではなかったか。」9:20-21

ありえないチェンジ

• 主はどんな人でも変えられる!

- 迫害者であったパウロを宣教者にされた
- イエスは彼らを見つめて、「それは人間にできることではないが、神は何でもできる」と言われた。マタイ19:26

• パウロに起きたチェンジ

- チェンジされた部分: 信仰(信念)
- チェンジされなかった部分: 熱心さ・行動力・知識

• チェンジのために用いられる

- パウロがチェンジされるために主はわざわざアナニアを用いられた
- 誰かのチェンジのためにあなたの勇気が求められる